■米国：スマートグリッドの普及に規制の壁

2012年10月2日にワシントン市内で開催されたスマートグリッドに関する会議の中で、エジソン電気協会のキューン会長は、今後のマイクログリッドの発展について、自律的な電力供給を達成しようとする同システムではあるが、電力会社のバックアップが不可欠であり、その費用負担等について州規制当局による整理の必要があるとの認識を示した。同会議では別の参加者より、電気事業はスマートグリッドを利用した新しいサービスの提供に目を向け始めているが、州公益事業規制委員会は便益の明確化されていない技術を敬遠する傾向があるとの報告がなされ、州政府が技術を理解し、具体的な政策を実施することがスマートグリッド普及には不可欠とされた。